

令和6年度長野県農業士協会上小支部視察研修を開催しました。

長野県農業士協会上小支部では令和6年8月5、6日（月、火）に宮城県への視察研修を開催し、会員6名が出席しました。

1日目に視察した「JRフルーツパーク仙台あらはま」は、イチゴ・ブドウ・リンゴなど8品目150品種以上を栽培し、1年を通して旬のフルーツの摘み取り体験ができる観光農園です。主に梨やリンゴ・イチジクのジョイント仕立てとY字樹形のメリットについてお聞きし、会員は栽培管理について熱心に質問していました。

2日目に視察した「株式会社山元いちご農園」は、東日本大震災で被災した3軒のいちご農家が会社を設立し、観光農園、6次産業化、農福連携、ワイン醸造など幅広く取り組まれています。施設見学の他、農業をやりたいという若い人たちの手助けをしたい、育てたい、「支えてもらう復興」から「自立していく復興」を目指す、など地域として農業を守っていく大切さや目指す農業・経営についてお話をお聞きしました。

会員からは勉強になった、有意義な研修だったと感想があり、また会員同士の親睦も深められたとても良い視察研修となりました。



JAフルーツパーク仙台あらはまの視察の様子



株式会社山元いちご農園の視察の様子